

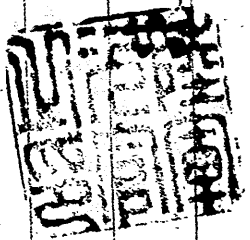
半

三日月受三九第四

筆榻版用

明治三十九年一月十日

陸軍次官石本新



第三軍司令部
 為十四日午後十時三十分
 新橋第一列
 車之東京
 凱旋者
 沿道各站
 有又凱旋人
 名之海軍
 通之
 石本新
 相本新

陸軍

華州所用

乃木司令官

松平副官

戸谷謀士

福島副官

河合泰謀副官

津野副官

菅野泰謀

河田泰謀

越後泰謀

井上泰謀

安原泰謀

貴志泰謀

塚田副官

末永管理副官

那部副官

塚田砲兵部員

官地副官

勝野副官

今澤工兵部員

大村副官

寺田經理部員

津野部員

淡路軍医部長

大森部員

憲兵大尉 鈴木武臣

歩兵大尉 赤垣為春郎

一等主計 池田純孝

一等主計 村瀬重郎

合 長野捨吉

合 野綱喜市

合 山中信光

一等四医 伊藤藤菊藏

輜重兵中尉 黒川良太郎

二等主計 松尾彌太郎

二等主計 船津完一

二等主計 横井七郎

騎兵少尉 野澤北地

三等主計 下村敬助

三等主計 鈴木儀兵衛

合 加納徳次郎

陸軍編修 兵藤為三郎

陸軍通譯 石本鏡太郎

陸軍通譯 廣渡桂太郎

合 河津敬次郎

合 鎌田祐吉

合 後藤 董

合 根岸四郎

合 柳澤香村

外科医 牧謙次